

短期大学保育学生におけるボランティア活動の 動機分析（継続動機を中心として）

堤 幸一（就実短期大学）、村田 恵子（就実大学）、
立石あつ子、澤津まり子（就実短期大学）

The Motive Analysis of Volunteer Activities in Junior College Child Care Student : Mainly in the Continuation Motive

Kouichi TSUTSUMI (Shujitsu Junior College), Keiko MURATA (Shujitsu University),
Atsuko TATEISHI, Mariko SAWAZU (Shujitsu Junior College)

抄 録

短大保育学生の保育系ボランティアへの参加動機・継続動機を質問紙により調査し、因子分析により、動機づけ構造を検討した。それによると、彼らはボランティア活動に対して、①社会貢献・自己啓発の機会であり、②他者に同調して行うのではなく、自発的・主体的に取り組むべきものと考えていることが見出された。さらに、継続参加する積極的な学生は、参加経験によって、自発性・主体性がより強化され、継続意義の認知も利用者との交流を主体とした、より具体的な形へと転化していると推測された。これらの結果から、従来の支援のあり方が支持されたといえる。また今後は、学生の自発性を尊重し、内発的動機づけを高めるような支援の方針が望ましいことも確認された。

キーワード：ボランティア活動支援，内発的動機づけ